

猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー

日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」が 2回目の認定継続となりました



ターゲット 17.17 TEL: 924-2628

2025年7月31日

郡山市文化スポーツ観光部

観光政策課

課長 遠藤 英樹

SDGs ターゲット 17.17ー「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

平成 28 年に文化庁から認定を受けた、郡山市・猪苗代町の日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」について、文化庁による審査の結果、日本遺産認定が再び継続されることとなりました。

1 郡山市・猪苗代町の日本遺産概要

(1) ストーリーのタイトル

未来を拓いた「一本の水路」

ー大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代ー

(2) 申請者

郡山市（代表自治体）・猪苗代町



2 日本遺産の認定継続制度について

日本遺産の認定継続制度は、令和 3 年度から導入された制度で、1 回目の継続認定から現在までの実績報告に基づく総括評価と、今後 6 年間の日本遺産を通じた地域活性化計画を基に、文化庁の日本遺産審査・評価委員会が認定継続を審査するものです。

本市は、令和 4 年度の審査による認定継続から 3 年が経過したことから、今回 2 回目の審査が行われ、日本遺産の認定が継続されることとなりました。

3 審査結果等について

(1) 審査結果

「認定継続」

(2) 日本遺産審査・評価委員会の総合評価

- ・日本遺産事業として必要な取組が一定程度計画に記載されており、取組の推進にあたっての体制が一定程度整備されている点について評価できる。
- ・観光コンテンツの造成と域内のシビックプライド醸成だけでなく、現地にきた旅行者に理解を深めてもらうための取組を強化することが望ましい。
- ・DMO（観光地域づくり法人）や民間事業者への将来的な事業継承を目指しているが、実現性を担保するための具体的なアクションプランを示すことが求められる。